

昨年度評価(H30年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成状況	4_30年度決算①	5_R1年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
4	教育支援センター教育相談員配置(増員)事業	増員により目標値の相談件数60件を達成することで不登校を未然に防ぐ。	○	2,496	2,536	40	相談員を増員した北部・南部教育支援センターの2ヶ所体制により、学校に行けない子どもの居場所としての役割を果たすと共に、学校復帰に向けた支援ができた。	学校教育課
13	小学校便所改修事業	小学1年生及び2年生のトイレ改修工事を実施する。	○	229,952	170,957	-58,995	市内全小学校の1、2年生トイレの洋式化、乾式化工事をスケジュールどおり完了し、衛生面を含め学校環境の改善を向上できた。	学校教育課
13	小学校図書室空調設備設置事業	唐竹小の図書室に空調機を設置する。	○	5,390	0	-5,390	スケジュールどおり設置工事を完了し、学校環境を向上できた。	学校教育課
8	給食の充実補助事業	安心安全な給食を提供する。	○	25,942	27,000	1,058	安全でおいしい給食を提供できた。	学校教育課
8	派遣指導主事配置(増員)事業	市内各小中学校に対する教育支援の充実を図る。	○	17,967	0	-17,967	多忙化を極めていた学校支援室が一定程度正常化し、多国籍化する外国人児童生徒や、増加する支援を要する児童生徒の対応に注力できた。	学校教育課
38	定住外国人日本語教育推進プレクラス・プレスクール事業	プレスクール等年間受入数の目標値である40人を達成し日本語初期指導を受ける環境を整える。	○	7,539	7,835	296	H30年度は、プレクラス29名、プレスクール15名が卒業した。対象者の増加等で満期の学習が受けられない、あるいは、予定の習熟度に達する前に卒業となってしまうなど、状況に応じた学習ができる体制を整える課題がある。	学校教育課
38	養護教諭補助教員配置(増員)事業	養護教諭の増員により教育支援体制が向上する。	○	11,732	8,899	-2,833	市費による加配で、養護教諭不在時の解消や単数配置の小学校への応援など、充実した運営ができた。	学校教育課
90	厨房設備機器購入事業	老朽化した厨房機器を更新する。	○	51,787	3,630	-48,157	老朽化の著しかった栄調理場の食器洗浄機を更新し、安定した給食の提供に寄与できた。	学校教育課
11	勅使テニスコート(1-4)改修工事	勅使テニスコート(1-4)改修工事を行う。	○	58,394	0	-58,394	スケジュールどおり改修工事を完了し、施設環境を向上できた。	生涯学習課
11	勅使グラウンド全面改修工事	勅使グラウンド全面改修工事の設計を行う。	○	4,741	132,638	127,897	設計を完了し、工事の発注に向けた準備に着手できた。	生涯学習課
17	放課後子ども教室委託事業	放課後子ども教室事業を実施する。	○	21,298	34,690	13,392	三崎小学校においてプレ開校をおこない、R1年度の正式開校に向けた準備を整えた。	生涯学習課
21	文化会館指定管理事業	文化会館指定管理事業を適正に管理する。	○	82,745	93,182	10,437	指定管理者による文化会館の管理運営を実施できた。初年度のモニタリング結果等を精査し、今年度の管理運営の改善につなげる必要がある。	生涯学習課
21	戦人塚石碑周辺整備事業	戦人塚石碑周辺整備を行う。	○	8,597	0	-8,597	文化庁の指示のもと、戦人塚石碑周辺整備をスケジュールどおり完了できた。	生涯学習課

※事業が関連するめざまちの姿の番号です。No.90はめざまちの姿関連外事業です。

「2_年度目標」から「6_差」の内容は、各所属の重点事業整理表からの転記です。

昨年度評価(H30年度)							
【主たる中施策事業】評価と現状認識							
※	1_事業名	2_進捗状況	3_30年度決算①	4_R1年度予算②	5_差(②-①)	6_評価と現状認識	7_所属
4	いじめ・不登校対策充実事業	A	25,627	27,437	1,810	相談員を増員した北部・南部教育支援センターの2ヶ所体制により、学校に行けない子どもの居場所としての役割を果たすと共に、学校復帰に向けた支援ができた。スクールカウンセラーの配置を柔軟に見直し、問題の早期発見、解決につなげることができた。また、スクールソーシャルワーカーによる学校訪問やケース会議への参加など、関係機関との連携が強化できた。	学校教育課
38	学力向上対策事業	A	67,625	71,803	4,178	どよう塾は、部活動参加など生徒の自主性を重んじている中、平均出席率64%は生徒からの一定の信頼が獲得できていると判断される。豊明小学校で実施した民間企業による学校プール指導は、一定の成果が確認された。新年度に予定している双峰小学校、唐竹小学校への導入に向け、複数校となる課題等を整理して展開を図る必要がある。	学校教育課
13	小中学校施設維持管理事業	B	610,504	443,780	-166,724	施設全体の老朽化が進み、改修すべき箇所が多いが、児童、生徒の安全を優先に改修、修繕工事を実施した。水道管やガス管の更新、エレベーター更新、中学校プール屋根等、更新計画を立て、計画的に取り組む必要がある。	学校教育課
38	指導力向上事業	A	6,535	6,138	-397	新学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」に対応する「協同の学び推進事業」を計画どおり実施することができた。未実施だった1校も今年度から実施する予定で、今後は学校間の取組に対し一定の均衡化を図る必要がある。	学校教育課
38	大学等入学支援事業	B	4,226	6,058	1,832	実績、ニーズから貸付型と給付型の対象人数を変更し、両型とも募集人数を上回る申請があり、制度の目的に沿った支援ができた。	学校教育課
17	青少年対策事業	B	35,522	51,552	16,030	放課後子ども教室について、未実施の3校のうち1校(三崎小学校)についてプレ開校することができ、新年度の本開校につなげることができた。残りの未実施2校の開校について、準備を進める必要がある。	生涯学習課
21	図書館資料貸出事業	B	30,769	32,411	1,642	指標である年間貸出冊数は概ね達成することができた。本館の伸びに対し、栄分室、南部公民館図書室の貸出冊数が年々低下している。原因分析とニーズ把握に努め、図書館のあり方について研究する必要がある。	図書館

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「2_進捗状況」から「5_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。